

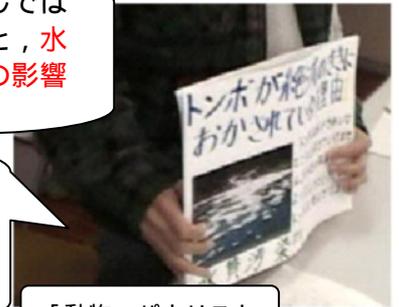
未来の地球環境を守ろう



コーディネーター

(始めから中頃までの討論は省略。) 私達は、水無しでは生きていけません。今までにあった公害の歴史を思うと、**水質汚染はとても怖い**ですね。**生活排水により、直接水の影響を受ける水辺の生き物はどうでしょうか。**

はい。僕たちは、**川を歩いて調べました。佐賀のトンボの多くの種が絶滅の危機に瀕しています。**原因の一つは川の水質汚染です。**川にはゴミが多く、生活排水も流れていました。トンボは、きれいな水や空気がないと生きられません。**解決策として、例えば、シンクに、**油や牛乳などを流さないようにすることが大切です。**



「動物」パネリスト



フロア

水質汚染で佐賀のトンボが心配になってきましたが、**佐賀以外**にも日本や世界で**絶滅してしまった動物**はいるのですか？その原因は何ですか。

例えば**トキ**です。2003年に完全に絶滅してしまいました。原因は、**住む場所がなくなったり、農薬のためにえさがたんぼにいらなくなったりした**からです。**環境を改善して、絶滅を防ぐ**ことが必要だと思います。

「動物」フロア



「動物」フロア

私を知ってほしいのは、シロクマのことで。地球温暖化の影響で、**50年後にシロクマが絶滅してしまうと予測**されています。氷の上を移動してえさを探すシロクマは、氷が溶けるのが早いとえさが探せず、**気温が1度上がるとシロクマの体重は22kgの割合で落ちると**言われます。やせ細って餓死し、数が減少しているのです。**私達にできることは、暖房の温度設定に気を付けたり、自動車を使わず自転車や電車を利用したりして、二酸化炭素を減らすこと**だと思います。

シロクマの絶滅の危機は、**車に乗り排気ガスを出す僕たちの生活と関係**しています。僕たちの学校のマツの気孔を顕微鏡で調べると、**多くの葉の気孔に排気ガスに含まれる黒い微粒子がびっしり詰まっ**ていて、**交通量も排気ガスが多いことが分かりました。**この微粒子は軽いので、風に乗って北極まで飛び氷に付きます。黒いので光を吸収して、さらに**北極海の氷を溶かして**います。顕微鏡を教室に用意しているので、ぜひお確かめください。



「動物」パネリスト



コーディネーター

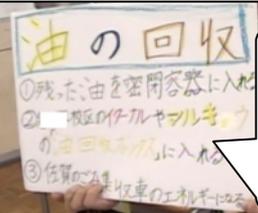
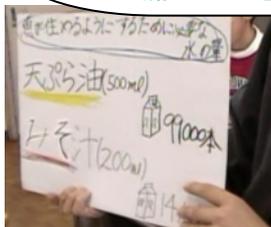
二酸化炭素の増加や大気汚染、水質汚染と様々な問題があることがわかりました。水質汚染について、「水」グループさん、他にありませんか。

全国の県別の下水道普及率のグラフを見てください。1位は東京の**99%**です。佐賀県は何%だと思いますか。

実は、**44%**しかないのです。でも、**下水道を作るには、お金がかかり、すぐには普及しない**ので、そのまま川に流れることになります。ですから、**排水溝にほんの少しの生ゴミでも流さないようにゴミ入れを作ってみました。**このゴミ入れは、まつりで水質汚染を説明した後に配ります。ゴミ入れがあることで、**ゴミを流さない意識をもってくれたらうれしい**です。



「水」フロア



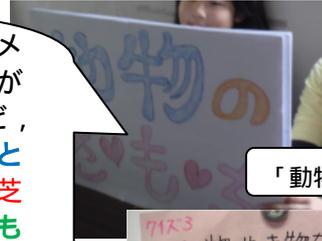
もし、**500MLの油を排水溝に流すと、魚が住める川の水に戻すためには、1Lの牛乳パック 99000 本**の水が必要になります。**佐賀市では、油の回収**を行っていて、**校区でも回収**を行っています。びんなどに詰めて出すだけでよく、回収した油は車の燃料として利用されています。**捨てるこの方法を広めたい**と思います。



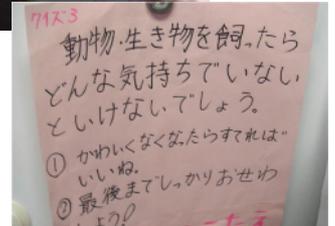
フロア

水質を守る油の回収方法が分かり、やってみようと思いました。ところで、水質汚染や草むらの減少のため、川のトンボが減っているということでしたが、カメをよく見かけます。増えているようですが、どうですか。

はい。増えているのは、移入種のみどりガメです。ペット用にアメリカから輸入されて売られますが、飽きたら捨てている人がいるのが現状です。移入種が入ってくると、昔からいたカメがいなくなるなど、生態系が変化し、環境への影響があります。これも、人が招いたことなので、僕達は、まつりで、動物クイズ出したりや飼い方の紙芝居を見せたりして、地域の人や下級生が最後まで飼いたいと思ってもらえるようにしたいと思います。



「動物」フロア



フロア

私達の生活が環境に影響を与えているのですね。資源のむだ遣いもありますか。

はい。私達が地域と取り組んでいるアルミ缶リサイクル活動の他に、「リデュース、減らす」ことが大事だと思います。日本は、世界の水を使っている国です。日本が輸入する食料に必要な水は年間数百億m³に相当します。世界には、水に困っている国があります。水を鉛筆の太さに出す、風呂の残り湯を洗濯に使うなどを心掛けていますが、世界の現状を考えると、このままでいいのでしょうか。



「資源」フロア

今の意見に関連して述べます。世界では、温暖化や森林伐採に起因する砂漠化のために、水不足が起こっています。水不足のために、水量が減った川や池の汚い水しか飲めない国もあり、汚い水を飲んで病気になって亡くなっている子どももいるというのです。その数は…。

フロアにいるメンバーからの補足



資源フロア

解決方法として、自分たちが食べるものをできるだけ自分で作り、輸入に伴う水の使用を減らすという方法があります。例えば、私達のグループは、牛乳パックを利用して、実際にネギを育ててみました。ネギの根っこ部分5cmぐらいを切って、それを土に入れて水をやります。すると、少しずつ育って、ちゃんと伸びました。自分で育てるので、安心して食べられます。育つまで、初めは面倒くさいという気持ちもあるかもしれませんが、でも育てていくうちに、その成長を感じて、面倒くさいという気持ちが変わり、喜びを感じることができると思います。



「動物」パネリスト

「面倒くさいという気持ちが変わる」というのが心に残りました。他に感じたことは、ありますか。

ネギの栽培では、水やりやネギ植えを面倒くさいと思ったこともあったけど、やり方を工夫したり、みんなでがんばろうという気持ちをもって最後までやり遂げたりすることができて、誇らしい気持ちもちました。育っていくネギを見て、ゆったりした気持ちにもなりました。そして、自分達の未来を変えるのは、自分達だと思いました。

「資源」パネリスト



ゲストティーチャー

これまでの討論を受けて、ゲストティーチャー（以下GT）には、児童の討論の内容のよさを取り上げほめてもらうとともに、専門的な知識からのアドバイスをいただいた。事業者のGTには、住宅を建てる時の木材について、世界の木を使う日本の現状と問題点、解決策として地元の木を使う努力、森林を育てる研究などを話していただいた。環境課のGTには、減らす、再利用、再資源化の順や佐賀市のトンボの標本を比べることによって見えてくる環境の現状を、下水道課のGTには、佐賀市の下水道普及率の現状と、生活の中で一人一人ができる汚水を減らす方法などを話していただいた。